

平成17年度納涼例会



今年の納涼例会は花火大会をはずして7月29日(金)に開催日が決まり、場所も半ば恒例に成りつつある毎年評判のよい「岡山セントス」でということになりました。男性75名、女性23名の計98名参加という多人数での会となりましたが、賛助会の藤原、龍門、松永各氏の手慣れた連携で会はずーに進み、正会員の新人としてアデックスの田中氏の紹介や倉森先生による乾杯の音頭を挟みながら、生演奏にあわせて田原市議のペアによる華麗なダンスが披露され、その後参加者がステップの指導を受けながら生演奏にあわせて踊りに興じ、宮崎幹事の年齢を感じさせないリズムカルなステップが群を抜く中、会場は熱気ムンムンと盛り上がり、楽しい一時を過ごしました。後日談ではありませんが、ある二次会では熱気ムンムンがさらにヒートアップしたと言う、羨ましい事があつたらしく別行動をした小生としては「あ～ 時間よ戻れ!」の気持ちで今も後悔の日々を送っています……。

追記 納涼例会の諸準備、進行、後処理と汗をかいて下さった方々に感謝、感謝、感謝。

親睦委員長 菅野 憲



第2回蛙会



第2回蛙会が、平成17年9月2日(金)に岡山駅前から柳川交差点周辺で行われました。正会員7名、賛助会員10名、事務局1名の計18名で、のんびり探訪をしながら歩きました。

まず、OKC事務局をスタートし西川を東へ横切り、今の建築基準法では建築不可能であろう木造3階建アパート(現役)や、屋外鉄骨階段が途中で失われているお店等を見て撮って歩き続けました。そういった中で「野田屋町」は昔「丸亀町」という町名でした。何故、丸亀町なのかという由来を、とある神社で発見した事は参加者の驚きでした。その後、朝日新聞岡山支局、子守神社、岡夙比と探訪し終えた時の参加者の目は、純粋な子供のように感じられました。歩いて見るという行動も良いのですが、何か新しいものを発見した喜びなのかも知れません。

夕暮れとはいえ残暑厳しい中、歩いたあとのビールは最高でした。ダイエー裏にある居酒屋「いざ酔いの月」では大いに盛り上がり、皆さん底なし状態でアルコールをよ～くお飲みになりました。正直、幹事は前回より焦りました……。

参加して下さった皆様、大変お疲れ様でした。未だ参加されていない会員の方も次回からは是非、遊び心で参加して下さい。

蛙会世話人 平松 昭人



編集後記

「お湯が出ないヨ～!!」そんな愛妻の声が目が覚めると、最新式の「エコキュート」からは、1滴のお湯も出ていません。自然に優しいとはいえこの時期にお湯が使えないとなると非常に厳しい。家電を初め身近な物が全て「デジタル化」され、多種多様な機能を持っています。移動は車、伝達はメール……。

先日休日の昼間、久しぶりに愛犬を連れて近所を散歩しました。時間に追われ1日、1ヶ月、1年が猛スピードで過ぎて行く……。私が住んでいる周りにはこんな素晴らしい自然が有り、人が居るんだな～あと改めて感じ、もっとスローな時間を作ろうと決意しました。

明日は、第3回蛙会「倉敷駅前商店街周辺の探訪」。スローな時間を楽しみにしている「看板屋」です。

総務・広報委員 宮脇 壽香



岡山建築設計クラブ

■発行人	代表幹事 江川 治男	■総務・広報委員会	委員長 於東 利夫
■発行	岡山建築設計クラブ	■編集	委員 長尾 悟
■発行日	平成17年12月15日		宮脇 壽香

URL <http://www.optic.or.jp/okcc/>
E-mail okcc@optic.co.jp

Okayama Kenchiku Sekkei Club

2005.DECEMBER

FILE!

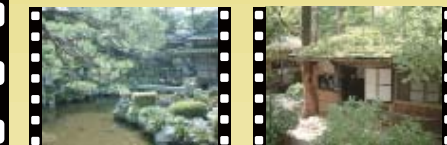
INDEX

10月移動例会
ワンデーエクササイズ
文化探訪旅行
平成17年度納涼例会
第2回蛙会

岡山建築設計クラブ

平成17年12月

10月移動例会 (建築・文化 山陰ウォーク)



今年度は10月例会といいながら9月29日の開催となりました。10月には特別事業等が予定されており少し早めにとの配慮からです。

初秋の山陰路が今回の移動例会の視察コースとなりました。目的は建物探訪か?それとも秋の味覚の探訪か?それは参加者個々の胸の内として。それはともかく、参加者約50名が思い思いの目的を持つての例会となりました。

朝8時に岡山駅前を出発し、最初の目的地の鳥取県智頭町にある石谷家へと向かいました。現地では事前に案内をお願いしていた係りの方が詳しく説明して下さいました。石谷家住宅は国の登録有形文化財に指定されており、見上げれば巨木の梁組、大黒柱の輝き、豪壮かつ精巧な歴史的建造物である。大正8年から約10年かけて改築された大規模な木造住宅で、敷地3000坪、40の部屋と7棟の蔵をもつ武家屋敷風の構えとなっている。主屋の高さ13mにもおよび巨大な梁組の吹き抜けは壮観でした。

石谷家を見学したあとは、智頭宿の町並みをそれぞれに歩いて回りました。酒の試飲ができる酒屋に立ち寄り、みやげ物を買ったりと……。

そして、次は二番目の目的である秋の味覚(山菜料理)を求めて「みたき園」へと向かいました。狭い山道もなんのその、大型バスは腹を空かせた参加者を乗せて一路「みたき園」へと突っ走って行くのでした。そこは山間の中に古い民家が何軒も建ち並んで一連の村を構成しているようでもありました。

当日は他の団体客もあり、2グループに分かれての会食となりました。我がテーマ交流委員会は小さな一軒家での和気あいの食事となりました。一人関取(山田さん)がいてお櫃に3杯のご飯をお代わりして周りを驚かせました。食事はとてもヘルシーで美味しかったです。そして少量のお酒も旨かったなあ～。

秋の一日を堪能して、にぎやかなうちに岡山へと帰路につきました。参加者の皆様どうもお疲れ様でした。また、今回参加できなかった方、次回はぜひ参加してください。最後に、この企画を事前に下見までして計画して下さいました担当者に感謝いたします。有難うございました。

テーマ・交流委員会 中田 利幸